

小説家「流泉小史」を語る 民俗村村長さんトーク

相澤史郎みちのく民俗村村長のトークは11月27日、市民交流プラザで開かれました。大正から昭和にかけて活躍した黒岩出身の作家・流泉小史(本名小原敏丸)の怪奇ミステリー小説に光を当て、作品のほか時代背景や生い立ちなどを解説。会場には30人の聴講者が詰めかけ、熱心に聞き入っていました。

同会場では村長さんの写真館も同時開催され(11月26日～12月1日)、相澤村長の写真のほか、村長と交友のある人々の作品が並びました。

郷土の作家・流泉小史の作品から全体像を読み解く相澤史郎村長



自宅に隣接する牛舎で牛の世話に励む高橋雄孝さん(右)と長男の良太さん

東北北海道の肉牛王者 連合肉用牛枝肉共進会

第14回東北六県北海道連合肉用牛枝肉共進会(11月9日～13日、岩手県家畜商業協同組合主催)において、高橋雄孝さん(和賀町岩崎新田)の肉牛(黒毛和種)がグランドチャンピオン賞を受賞し11月24日、長男の良太さんと共に伊藤市長を訪問しました。

高橋さんは妻の郁子さん、良太さんと110頭の牛の肥育に力を注いでいます。今回の受賞に「思ってもいない賞をいただいた。これを励みにまた頑張りたい」と意欲を見せていました。

百歳を迎えおめでとう

照井マスエさん

老人保健施設北上きぼう苑に入所している照井マスエさんが百歳を迎え3日、伊藤市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。

照井さんは明治43年12月1日生まれ。18歳で故新太郎さんと結婚し、子ども8人をもうけました。現在は孫17人、ひ孫20人、やしゃご1人に恵まれています。若いころは歌や踊りが得意で記憶力も良く、歴史を好んで話したそうです。孫の高橋義明さん(和賀町山口)は「顔つきが昔と変わらない」と喜んでいました。

家族5人に囲まれ、伊藤市長と記念撮影する照井マスエさん(中央)



家族や入所者が集まる中、祝い状や踊りの披露を受ける熊谷キエさん(中央)

熊谷キエさん

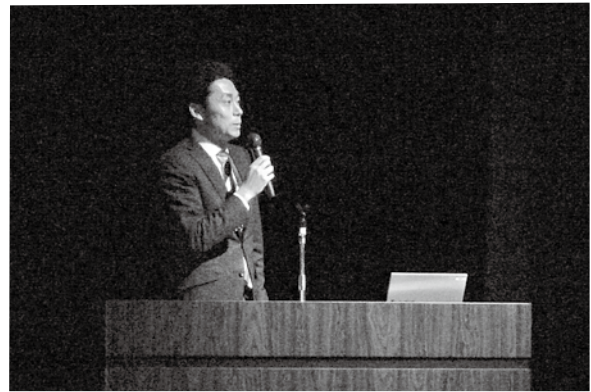
グループホームいこいの家に入所している熊谷キエさんが百歳を迎え2日、祝う会が開かれ、伊藤市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。

熊谷さんは明治43年12月1日生まれ。28歳で故登好さんと結婚し、子ども7人をもうけました。現在は孫13人、ひ孫6人に恵まれています。長男の勇志さん(栃木県)は「『雨にも負けず』の通り生きてきた母を模範としたい」とあいさつ。地域のボランティアが踊りを披露し、会を盛り上げていました。

はつらつステージ発表 音楽と芸術の集い2010

平成22年度障がい者週間事業「音楽と芸術の集い2010」は4日、江釣子ショッピングセンターパルで開かれました。障がいを持つ人と家族、障がい者団体、福祉施設、ボランティア団体が集結。障がい者の自立と社会参加、仲間同士の交流と市民からの多くの理解を求めることを目的に、元気いっぱいのステージ発表が繰り広げられました。買い物で立ち寄った一般女性は「すばらしいステージ。よく頑張っている」と目を細めていました。

勢いある振りでソーラン節を披露した和賀の園の皆さん



本気で取り組むことが大切と話す講師の高橋裕二さん

北上っ子の約束守ろう 5つのやくそく講演会

黒沢尻北地区自治振興協議会と上野中学校区教育実践協議会共催による「北上っ子5つのやくそく講演会」は11月29日、さくらホールで開催されました。児童生徒と語る会の一環で、同地区小中学生やPTA、地区住民らが参加。講師の岩手めんこいテレビアナウンサー・高橋裕二さんは自身の体験を交えながら、何でも本気で取り組むことが大切だと伝えていました。

5つのやくそくは子どもに身に付けさせたい生活習慣を市が設定。各地域で取り組みが進められています。

まちの安全安心を守る 年末年始特別警戒活動

12月15日から1月3日の年末年始地域安全運動に伴い14日、北上警察署、北上市防犯協会、各ボランティアなどによる特別警戒活動が行われました。一日防犯隊長には東陵中学校生徒会長の及川遼君(2年)と副会長の菅野美咲さん(同)が任命されました。また、走る防犯ボランティア「北上ランランパトロール」が立ち上げられ、NPO法人フォルダ、黒沢尻北高校、専修大学北上高校が参加。ジョギングしながらパトロールし、子どもの見守りと防犯の一役を担っていました。

伊藤市長からたすきを渡される及川遼君(左)と菅野美咲さん(左から3人目)



時局講演会の会場で使用された、新しい折りたたみいす

地域行事に役立ちます 宝くじ助成で備品配置

立花地区交流センター主催の時局講演会は9日、同交流センターで行われました。講師はフリージャーナリストの横田一さん。新政権の現状と今後についての講演に、参加者は理解を深めていました。

同センターでは、いすの老朽化や複写機の故障、高齢者への配慮から、宝くじの助成(一般コミュニティ助成事業)で折りたたみいす48脚と複写機1台を配置。時局講演会で活用されたほか、地域の会議や行事、情報の発信などに役立てられています。